

市立

小諸高原美術館・白鳥映雪館



桶田洋明・高柳剛士 二人展 — 人物と風景の共鳴 —



《未来を照らす灯》
桶田 洋明



《初秋》
高柳 剛士

東信地区出身の桶田氏（上田市出身。鹿児島大学教授・二紀会会員）と高柳氏（佐久市出身。白日会会員・日展会友）両氏の油彩画等を展示します。桶田氏は、女性像や動植物を構成して「生命の儚さ・輪廻」をテーマに描いています。高柳氏は、浅間山や田畑など、作者の身の回りにある情景を写実的な筆致で制作しています。本展覧会では、二人の具象絵画作品合わせて約40点を展示し、それぞれの絵画が目指す表現を紹介します。各作家の大作・力作をどうぞご鑑賞ください。

- ▶ 日 時 4/28(日)～7/11(木)
- ▶ 時 間 9:00～17:00 ▶ 場 所 第1・2展示室
- ▶ 観覧料 一般500円 小中学生250円
- ▶ 休館日 月曜日(4/29(月)は開館、4/30(火)は休館)

園 市立小諸高原美術館・白鳥映雪館 ☎ 26-2070

昆虫写真家

海野和男の小諸日記



カタクリの種まきをするアリ

4月になって、カタクリの花が咲き始めると、一気に春の訪れを感じる。とても美しい花だが、カタクリは球根植物で、なかなか増えない。タネもできるが、タネが遠くに飛ぶわけではないので、一面カタクリの咲く景色は、そう簡単にはできない。

カタクリが増えるためには、タネを蒔いてくれる助っ人が必要だ。

その役割を果たすのがアリの仲間だ。カタクリの種には不思議な匂いがあるアリをひきつける。アリの幼虫の匂いだとされている。タネを見つけたアリは巣に運び入れる。しばらくすると腐敗臭がするらしく、アリは種を運び出して捨てる。そのことによって、カタクリはアリの巣の近くで芽生えることになる。アリの種類は確認しただけでアズマオオズアリ、トビイロケアリ、クロヤマアリだ。色々なアリがカタクリが増えるのを手伝うわけだ。



写真はクロヤマアリ

ご用命お待ちしております。



小諸観光タクシー
☎0267-22-2424
佐久小諸観光タクシー
☎0267-65-8181



JR指定券乗車券の発券業務も行っております
お電話一本で手配します。
お気軽にどうぞ
小諸駅前観光センター
☎0267-22-6161



隣地との境界を明確にして お互いすっきりとしましょう!

土地の境界 / 土地の境界には筆ごとの範囲を公的に区分する「筆界」と、所有権の及ぶ範囲を区分する「所有権界」があります。一般にはこの両者は一致するものですが、所有権界は当事者間の合意や時効取得などにより変動することがあり、筆界と相違する場合があります。

最新のGPS(衛星からの)測量技術で正確さを競っています。

お気軽にお電話ください
TEL0267-22-9491 土地家屋調査士 川上 陽次郎
小諸市六供1-3-17 丸山写真館様3軒うえ (株)ユーアール測量設計代表